

～京田辺市で働く保健師からみなさんへ～

★京田辺市の魅力★

自治体規模がちょうど良い

保健師として自治体で働くとき、京田辺市は自治体規模がちょうど良く、市民のニーズも肌で感じられ、程良く顔の見える関係を築くことができます。

成長できる保健師体制

京田辺市では、20代～50代まで各年代の保健師が在籍しています。

また、統括保健師を設置するとともに、保健師のジョブローテーションを実施することで、母子保健・成人保健・高齢者保健のいずれも経験することができます。保健師自身の成長を支援しています。



働きやすい職場環境

京田辺市は、交通の便が良いのも特長の一つです。毎日の通勤はもちろん、将来のライフプランを考えた際にも、通勤のしやすさは、就職先を選ぶ際に重要なポイントの1つではないでしょうか。京田辺市の職員は、市内居住者に加え、多くの職員が、京都・大阪・奈良から通勤しています。

また、職員のワークライフバランスにも取り組んでおり、子育て世代の保健師のほとんどが子育て支援制度を利用し、子育てと両立しています。



連携を生む市役所庁舎での勤務

京田辺市では、保健師が保健センターではなく、市役所庁舎に在籍しています。そのため、他部署の保健師間だけでなく、社会福祉士や事務職員、土木技師など、普段から他の職種の職員や所属と関わりを持つことができ、連携事業にも大きな成果が出ています。

健康に関する分野は、保健師の所属する部署だけでなく、ウォーキングしやすい道を整備するなど様々な部署と協働し、いきいき健康で明るいまちづくりをすすめています。

▼▼申込みはこちらから▼▼



幅広い世代への関わりができる

京田辺市は、「こどもまんなか応援サポーター」となっており、子育て世代の方が多く転入してくださっています。また、令和2年の国勢調査では、生産年齢人口（15～64歳）の割合が府内トップでした。そのため、子育て世代、働き盛り、高齢者の各世代の方と関わるすることができます。

赤ちゃん訪問や乳幼児健診などとおして若い世代から関わりを持てるため、早い時期から予防活動に取り組むことができ、市民全体の健康づくりを推進することができます。

また、新興住宅地から自然豊かな山間部がある京田辺市では、保健師の活躍できる範囲も広く、面白みがあると感じていただけたと思います。

